荒尾市民病院
- Arao Municipal Hospital -
地域医療連携だより
小岱

市民を愛する　市民に愛される　病院へ

第23号（平成25年1月発行）

〒864-0041　熊本県荒尾市荒尾2600
荒尾市民病院　相談支援センター　地域医療連携室
TEL　0968-63-1115（代表）（内線536）
FAX　0968-62-4543
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ　www.hospital.arao.kumamoto.jp/
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　bsn@hospital.arao.kumamoto.jp

《病院理念》

荒尾市民病院は地域住民の健康の維持増進に努め、患者中心の安全で質の高い医療の提供を目指す。

《基本方針》

1. 地域の信頼に応える急性期医療を目指し、最善の医療を提供します。
2. 地域連携を進め、地域完結型医療を目指します。
3. 患者の人権を尊重し、温かい心を持った医療人を育成します。
4. 効率的な経営管理を基本とし、健全な経営を目指します

《患者様の権利》

・あなたは、あなたの病気について必要な医療を受けることができます。
・あなたは、医療の内容について十分な説明を受け、十分な納得と同意の上で適切な医療を選択することができます。
・あなたは、医療の内容についてご自分の希望を申し出る事ができます。

挨拶

新年明けましておめでとうございます。昨年は、本院との病診連携を密にして頂き厚く御礼申し上げます。今年も地域の中核病院として、また、地域医療支援病院として地域医療を確保し、連携を進め、地域完結型医療を目指し、職員一丸となって頑張っていく所存です。地域がん診療連携拠点病院、熊本県脳卒中急性期拠点病院、さらに、熊本県急性心筋梗塞急性期拠点病院として、今年もさらなる病診連携と地域医療の質の向上を目指し、なお一層の努力を致します。何卒ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、本院の地域医療研修センターでは、医師会の講演会、地域がん診療連携拠点病院としての研修会や講演会、また、有明地域医療連携ネットワークの研修会や一般市民を対象とした市民公開講座や循環器勉強会など、地域医療支援病院として諸種の講演会や研修会に利用していただき、この有明地域の医療の質向上に一役買わせていただいております。早速1月9日に有明地域小児救急地域医師研修事業講演会（熊本赤十字病院；古瀬　昭夫先生）を開催いたしました。

また、昨年4月にオープンした「放射線治療センター」は、最新の放射線治療装置を備え、有明地域の多くの患者が、治療を希望し受診しております。今年4月には、正確に患部のみに放射線を当てるIMRT装置を導入致します。さらに精度の高い治療が可能となり、地域完結型医療の実践に近づくものと期待に胸を膨らませております。

さて、本院の地域医療連携室は、病院正面玄関の右手にあり、室長の村上看護師を中心に、MSW2名、精神保健福祉士1名、理学療法士1名、事務職1名の6名体制で、「相談支援センター」として病診連携を中心に行っております。その内容は、ご紹介患者の対応、退院についての相談、支援などの病診連携とがん患者の諸種のご相談（セカンドオピニオンやがんの悩みなど）に携わっております。お気軽にご利用下さい。

今年も、病院キャッチフレーズ「市民を愛し、市民に愛される病院へ」を目指し、皆様方のご支援ご協力を賜りながら、質の高い医療と安心安全な医療の提供を目指して行く所存です。この有明の地域医療をしっかり守って参りますので、今年もどうぞ荒尾市民病院をよろしくお願い致します。

平成25年正月　　病院事業管理者　大嶋壽海

子宮頸がんについて

産婦人科　佐々木　瑠美

日本で若年者の子宮頸がんが癌罹患率・死亡率ともに増加傾向にあることは大きな社会問題です。特に20～40歳代の若い世代で、子宮頸がんで大切な子宮を失うことになり、さらには命まで落としてしまう女性が増えています。子宮頸がんは検診と予防ワクチン接種の組み合わせで予防できる病気です。欧米先進国では頸がん検診受診率が平均60％以上であるのに対し、日本は20％台と著しく低いという現状にあります。産婦人科は受診しにくい科ですし、検診なんてまだ早いと思われる方も多いと思いますが、検査は短時間で終わります。1～2年に一度、例えば誕生月に受けると決めて、定期的に検診を受けましょう。

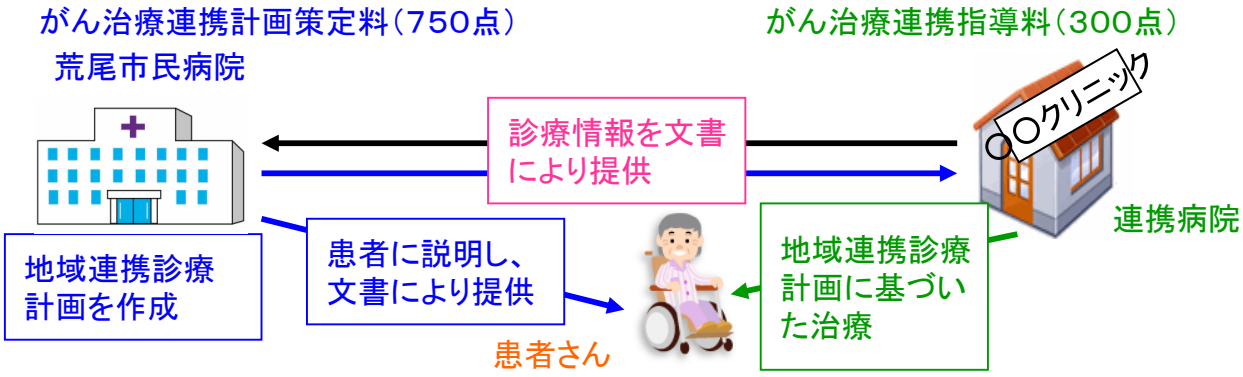
なお、ワクチンは市内に住民票を有する中学1年～高校1年生（平成8年4月2日～平成12年4月1日生まれ）に相当する年齢の女子は平成25年3月31日までは、公費助成の対象となります。

ご案内

がん診療連携に係るご案内

荒尾市民病院は「がん診療連携計画策定病院」として、連携医療機関様のご支援のもと地域がん医療の充実に努めております。今後も当該患者のニーズが高まる今般において、がん診療連携体制の更なる充実が本院の使命と考えております。がん診療連携の本連携に係る施設基準には届出が必要となりますが、本院での届出をもって、連携医療機関様も承認される運びとなっております。本院との連携をご希望の場合は、ご連絡をいただきますようご案内いたします。

今後とも本院のがん医療への取り組みに対してご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



お知らせ

キャンサーボード（症例検討会）開催のお知らせ

日　時　　平成25年1月30日（水）　18:30～19:30（予定）

場　所　　荒尾市民病院　地域医療研修センター（南病棟4F）

演　題　　「悪性脳腫瘍の治療」

演　者　　荒尾市民病院　副院長　不破　功

大型機器（CT・MRI）の共同利用のご案内

＜当院の特徴＞

◆撮影装置は、64列CT　16列CT　1.5テスラMRI（いずれもPhilips社製）です。

◆CT装置では、患者さまの体型と検査部位の体の厚さに応じて、放射線の線量を自動で調節する自動被ばく低減システムを搭載し、患者さまの医療検査被曝を最小限に抑えて検査することが可能です。

◆年3回の保守点検契約により機器の精度管理の維持にも努めており、安全で安心して検査が受けられるようにメンテナンスをしています。

◆画像診断治療医の赴任により精密で有用な診断価値の高い撮像法の追加撮影や読影レポートを早期にご依頼医様にご提供できる体制を整えています。

◆必要に応じて、熊本大学連携遠隔画像診断センターと連携して読影レポートを作成します。

◆本院で撮影した画像と読影レポートは当院の画像サーバーに過去画像として保存（CT2004年　MRI2005年以降の撮影画像）され、今後ご要望があればこれらの医用画像情報をCDでお渡しすることが可能であり、本院を連携施設様の医用画像の外部保存施設としてご活用していただくことが可能です。

検査担当医師

画像診断・治療科　厚地　修太朗

＜ご利用方法＞

①紹介状を荒尾市民病院相談支援センターへFAXにて送信してください。

②検査の予約日時を調整し、確認のお電話をさせていただきます。日程が確定したら、検査の予約票をFAXにて送付致します。

③紹介状は、本院で作成したものもご利用いただけます。必要時にご連絡いただきますとお届けいたします。

④予約の方法にインターネットを利用し、直接ご予約いただく方法があります。詳細は、ご連絡いただきますと担当者が説明に伺います。

連絡先：荒尾市民病院　相談支援センター

TEL：0968－63－1115（内線536）

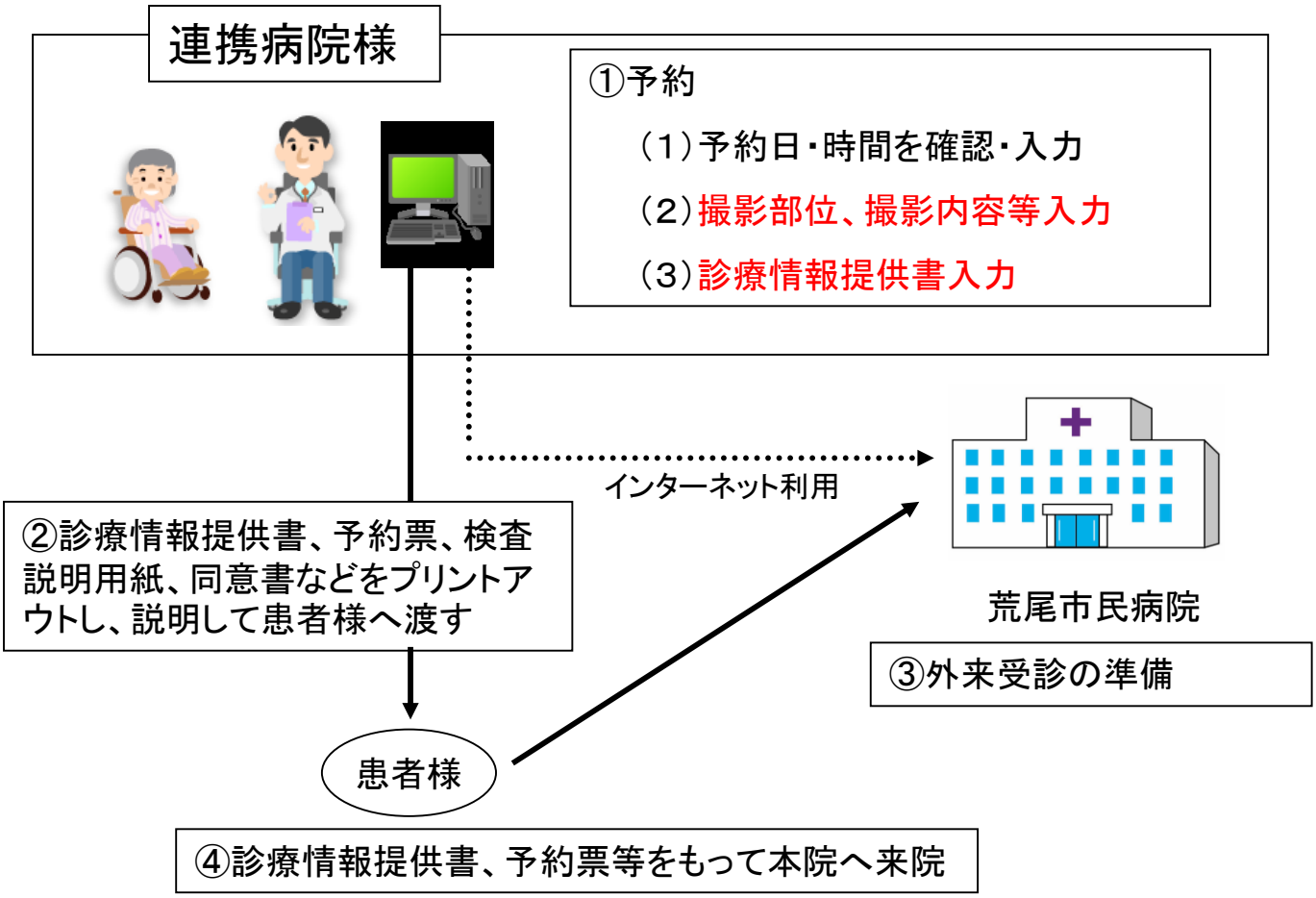
FAX：0968－62－4543

CT、MRIのインターネット予約のご案内

患者様の診察中に、予約状況を確認しながら、その場で予約が可能となります。ご利用される医療機関では、インターネット接続のパソコン（現在使用中のものでも可）を準備いただきますと費用はかかりません（ただしインターネット使用料等は必要です）。予約の際、必要項目を入力していただきますと、診療情報提供書としてプリントアウトすることが可能です。システムは、富士フィルム医用サービスカルナを利用しますので、富士フィルムとの利用契約が必要となります（費用はかかりません）。

ご利用をご検討される場合は、担当者より説明に伺いますので、相談支援センターまでご連絡下さい。

なお、FAXによる予約も従来どおり受け付けています。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。
今年は、“へび年” です。気味が悪いとか何かとマイナスイメージですが、同情心があつく、人のために尽くすという宿命を持っているのが、たつ年とへび年だそうです。私も“へび年”の方に負けないように地域医療・福祉の連携に少しでもお役に立てるよう決意を新たにし頑張ろうと思います。
本年も引き続きよろしくお願い致します。
寒さ厳しい季節となりましたが皆様ご自愛ください。

相談支援センター　村上　裕子